広報

ふくしま

2018
1
No.734

揮毫／名誉町民 秋元 貢氏（第58代横綱千代の富士）

＝今月号の主な内容＝

- 町長・議長の年頭挨拶 P 2
- 輝く我が福島町「人財」 P 4
- 町長のまちづくり奮闘記 P 6
- タウン情報　ほか P 7
- 町議会定例会12月会議 P10
- 役場からのお知らせ P12
- 国民年金のお知らせ P13
- 浄化槽整備事業のお知らせ P14
- 後期高齢者医療制度のお知らせ P15
- 生涯学習コーナー P16
- 農林かわら版 地域おこし協力隊のふくしま散歩！ P18
- 今月の行事予定 P19
- お知らせ　ほか P20
- ちびっこギャラリー　ほか P21
- わが家のアイドルで～す　ほか P22

北方領土返還要求運動のシンボルの花「千島桜」

12月23日（土） クリスマス会（福島幼稚園）

新年あいさつ

一人ひとりの笑顔が町を元気に！

福島町長　鳴海　清春

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もご家族おそろいで輝かしい新春を迎えられ、心からお喜び申し上げます。

昨年は、日本の大手企業のデータ改ざんなど技術立国日本の根幹を揺るがす事件が相次ぎ、また、九州北部豪雨などの災害も多くありました。そのような中、上野動物園でパンダの赤ちゃんが誕生し、〝シャンシャン（香香）〟と命名され、人々の心を癒す話題がありました。

当町では、一昨年春の低気圧で被害を受けた養殖昆布の施設が整備され、出荷当初の高値と全国的な品薄を反映し、過去最高額となる七億円を超える水揚げとなっております。

また、四月から施行された「福島町がんばる地元企業応援条例」が広く町民の方々に受け入れられ、漁業者・農業者及び商工・加工業・建設業等と幅広く活用され、約3億以上の経済効果を生み、町内経済の循環に寄与し、地元企業の事業継続に繋がっております。

しかし、一方で基幹産業であるイカ漁の不漁が続いており、漁業者及び加工業者の経営を直撃しており、今年のイカ漁に期待を寄せるものであります。

当町は、漁業を基幹として栄えた町であり、浜からの生産力を高めることがまちの経済の安定に欠かせないものとなっており、養殖昆布などの前浜の生産の安定と、付加価値による収入の増大を図る必要があります。

就任以来、思いやりのある行政を目指すとともに、産業を基軸に笑顔の循環をめざす取り組みを進めておりますが、一定程度、産業の土台や基礎を築くことができました。

今年は、大型事業として、丸山地区町営住宅の整備が始まり、また、地場の生産力向上を図るため、アワビの陸上養殖を本格化させるとともに、食べる昆布の生産拡大を目指します。さらに懸案となっておりました「道の駅」についても若い人を中心に議論を始めることとしております。

また、地元の魅力ある資源を活用し、交流人口の増加を目指し、岩部地区を拠点に「青の洞窟」などのクルージングを、まちづくり工房において開始することとしております。

平成三十年の節目の年に、町民一人ひとりが笑顔で元気に暮らし、そのことにより町の活気や元気につながるような施策を展開してまいります。

先人たちが幾多の困難を乗り越えてきたように、私たちも果敢に挑戦をする一年でありたいと念じております。

新しい年が皆様並びに福島町にとって燦々と輝く年となりますよう、心からご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

謹賀 年頭のご

あらためて、「自助・互助・公助」の実践を

福島町議会議長　溝　部　幸　基

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

日頃から議会に対しまして温かいご理解とご協力を頂き、心から厚くお礼申し上げます。

地方自治体が行政運営の規範としてきた、地方自治法が施行され70年が経過した。長い道程の中で、地方分権改革から地方創生へと変遷、機関委任事務の全面廃止等、国の関与の縮減など、制度として大きく変化したものの、税財源問題を含め、実質的な決定権は国にあり、目指す地方政府実現には容易でない膨大な課題があるとして、「地方の自由な裁量権の拡大」、「行財政改革として実行してきた、職員定数削減・外部委託・非正規化の見直し」が喫緊の課題であるとの提言もありますし、制度を地方の実情に合った運営へ結びつける運用の仕組みへと充分展開しきれず、依然として自立が叶わず、国へ依存する体質が改善されていない実態も指摘されております。また、「地方の行政力は限界を迎えつつある。しかし、行政力の限界が地域力の限界であってはならない。だからこそ、住民力の拡充が不可欠。行政は今後、残る力を振り絞って、住民力の拡充を進めなければ。」とのある首長の決意もありました。

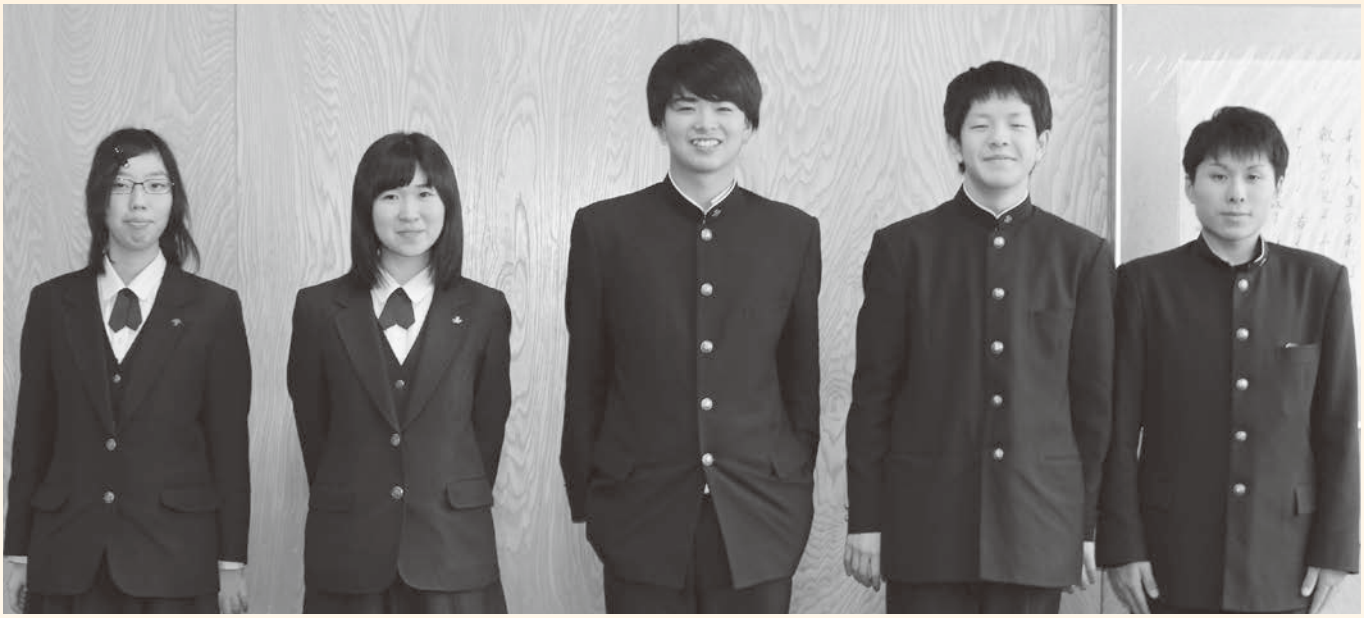
少子高齢化の進行が止まらない状況下での将来への展望には、町は自分達でつくっていくものであることを強く意識し、自治の基本である「自助」「互助」「公助」を自ら積極的に実践する覚悟が必要です。

議会としては、積極的に情報を発信し、町民の皆さんへ共通認識を持てる機会を提供し、引き続き町民を守る気概をもって、より一層活発な議会活動を推進してまいります。

今年もまた、住民と議会の懇談会を二月に計画しております。皆さんのお話を聞くことを中心に従来通り、議員三班編成・6日間・18会場で開催しますので気軽に参加願います。（後日、詳細を案内いたします。）

イカ等の不漁が続いておりますが、養殖コンブの回復、町民有志の協働でスタートした「まちづくり工房」の挑戦、「がんばる地元企業等応援事業助成金」の予想を上回る活用は、まちづくりの可能性と挑戦する強い意思を感じます。福島らしい明るく元気な年になることを願い、町民の皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。

◆今月の特集は、11月23日に函館市で開催された「第２回はこだて学生政策アイディアコンテスト（一般社団法人はこだて地方創生研修会主催）」にて、「優秀作品アイディア賞」を受賞した福島商業高校の「課題研究ふるさと班」の５名の生徒を取材しました。



▲左から　坂本菜緒さん、梅澤萌さん、對馬颯太君、太田起雅君、梅澤葵君

「はこだて学生政策アイディアコンテスト」とは？

高校生や大学生がまちづくりや地域活性化のアイディアを競うコンテストです。

このコンテストは今年で２回目の開催となり、11月23日（木）に北海道教育大学函館校で開催され、高校４チーム、大学８チームが参加した中で、福島商業高校課題研究ふるさと班は高校生以下の部では最優秀となる「優秀作品アイディア賞」に輝きました。

課題研究の内容は？

坂本さん、梅澤さん、對馬君、太田君、梅澤君の５名は高校の課題研究の授業で「ふるさと班」を組み、「福島町の文化と伝統を紹介し、地域おこしにつなげることで町を元気にしたい」をテーマに７月から政策づくりに取り組みました。

この政策は、福島大神宮例大祭と松前神楽のブランド化と「ちょこっと暮らし」体験を組み合わせたもので、町外の人を対象に、イカ祭りから例大祭までの１カ月間、町内に滞在して漁業や農業、各種イベントのモニター体験などを楽しんでもらい、移住・定住に結び付ける内容となっております。

▲12月21日に行われた学習成果発表会の様子

問1．福島大神宮例大祭のブランド化と「ちょこっと暮らし」を組み合わせるという考えのきっかけは？

福島町の行事をまとめる際に、お盆の帰省時期が最も人が集まる時期だと考え、8月中旬から9月上旬までに行われるイカ祭り・相撲合宿・福島大神宮例大祭を取り上げることとしました。

8月中旬から下旬までは、海水浴や登山等が体験でき、9月上旬から中旬までは青の洞窟クルーズや農作業体験、そして福島大神宮例大祭での踊りをモニター体験していただければ、ちょこっと暮らしや永住につながるのではないかと思い、調査することにしました。

問2．調べるにあたって難しかった点などはありましたか？

調べることに関しては、特に無かったと思います。ですが、就職活動の時期でもありましたので、就職活動しながら調べることが一番大変でした。

また、昨年先輩たちが提案した、既存の施設を活用した「ホタル観賞会」やかまくらを設営し、ちゃんこ鍋を提供するという政策を参考にすることと併せて、自分たちでも新しいことを考えたかったので、プレッシャーはかなり感じました。

問3．町民の皆さんに知ってもらいたいこと等があれば！

今回、観光や人口のことを調べていった中で、福島町は全国消滅可能性自治体で9位となっていたことに驚きました。

また、皆さんご存知のとおり福島大神宮例大祭の歴史は長く、保存会もあって格式も高いものなので、町内外問わずたくさんの方に知ってもらいたいです。

最後に、学習成果発表会で他の班が発表したお菓子などももっと知ってもらいたいです。

▲▼課題研究ふるさと班が作成した資料

▲発表する梅澤萌さん

第27号 町長のまちづくり奮闘記

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【子供たちの青年の主張に感動…】

早いもので平成二十九年もあと数週間で終えようとしております。

週末の町長室の机に一人向かい、今年最後の原稿を寄稿しております。今年は例年になく冬の訪れが早い気がしております。

皆様にとりまして今年の一年はいかがでしたでしょうか？

十二月九日（土）に、青函トンネル記念館で行われました「福島町青少年の主張大会」へ出席いたしました。

各学校から選ばれた小学生五名、中学生三名、高校生二名の十名の子供さんたちの主張を聞くことができました。

毎年感じることですが、私たちの時代に比べて、発表が上手になっているうえ、考えもしっかりしていると感じております。

見事金賞に輝いたのは、小学生の部で「誠実に生きていくこととは」～福島小学校六年生の平野朱葉さん、中学生の部では、「三年目に伝えたいこと」～福島中学三年の船尾怜君、高校生の部が「家族」～福島商業高校三年生の梅澤萌さんが受賞されました。

発表した十人がそれぞれの年代において今の気持ちを素直に伝えており、大変すばらしい大会でした。

特に最後の発表者の梅澤萌さんは、表現力も豊かに、家族への思いお母さんへの感謝の気持ちが心に沁みるものがありました。発表の最後に「未来の私は、母が幼い私にしてくれたように、その子の未来を見通して、厳しく、温かく関われる人物になっているようにこれからの時間を歩いて行きたいと考えています。」と言っております。

梅澤さんは、来年の四月から就職するそうですが、しっかりと社会人として成長していくことを期待しております。

十一月二十一日（火）に、伊能忠敬ゆかりの千葉県香取市の宇井市長を表敬訪問し、懇談を深めることができ今後連携協力を進めることで理解をいただきました。また、二十二日（水）には、伊能忠敬の銅像を製作中の彫刻家の酒井先生の横浜市のアトリエを訪問し、製作状況を確認するとともに伊能忠敬研究会の渡辺一郎名誉代表及び七代目子孫にあたる洋画家の伊能洋先生の両名から銅像に対する監修をいただくことができました。また、来年行われる記念式典へ出席を要請することができました。

十二月五日（火）に福島町の出身者がお世話になっている長野県松本市の笹島建設株式会社の松本奈川作業所を慰問させていただきました。

現場は観光名所である北アルプスの上高地につながる道路で標高約千メートルの場所にあり、大変厳しい環境の中で新栄町の工藤さんや緑町の佐藤さんなどが頑張って働いており、町の近況を報告するとともに懇談を深めてまいりました。

今、福島町も人口減少が進んでおり、厳しい状況が続きますが、平成二十九年の人口動態を見ますと少し減少のスピードが緩やかになっております。

これからもすべての町民がここ「福島町」に住んでいてよかったと思えるような「まちづくり」を目指し、町民が力をあわせ希望と誇りを持って挑戦する心を忘れることなく、一年頑張っていきたいと考えております。

今年一年、豊かで実り多い年となり、春夏秋冬が福島町にとりまして素晴らしい一年となることをご祈念いたします。

謹賀新年

◇福島町議会◇

議長	溝部　幸基
副議長	平野　隆雄
議員	杉村　志朗
〃	瀧川　明子
〃	川村　明雄
〃	花田　勇
〃	木村　隆
〃	佐藤　孝男
〃	平沼　昌平
〃	熊野　茂夫

◇福島町役場◇

町長	鳴海　清春
副町長	髙木　壽
議会事務局長	阿部　憲一
総務課長	工藤　泰
〃 参事	小鹿　一彦
企画課長	住吉　英之
税務課長	西田　啓晃
町民課長	小鹿　浩二
福祉課長	石岡　大志
産業課長	川合　力哉
〃 参事	寺谷　志保
〃 参事	花田　雅昭
建設課長	木村　文年
保育所園長	金澤　峰子

ほか職員一同

◇福島町監査委員◇

識見	本庄屋　誠
議選	木村　隆

◇福島町選挙管理委員会◇

委員長	花田　典明
委員	野坂　禎子
〃	花田　修一
〃	江口　溫志

◇福島町農業委員会◇

委員一同

◇福島町教育委員会◇

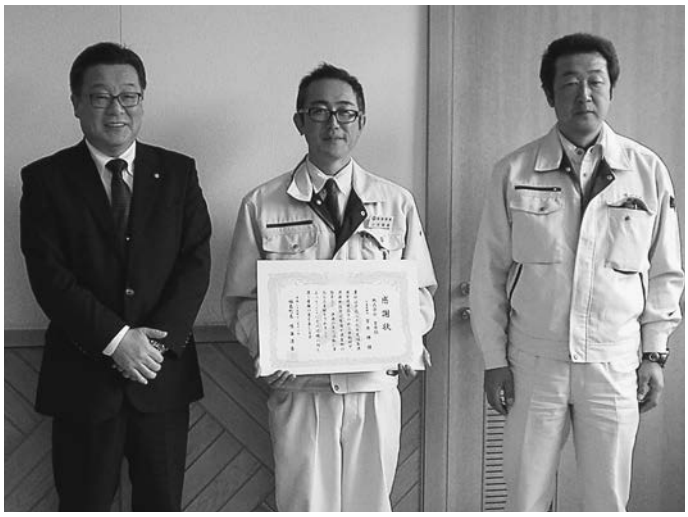
教育長	前田　勝広
教育長職務代理者	平沼　竜平
委員	佐々木幸夫
〃	阿部　透
〃	成田　倫与
事務局長	鎌田　一志

タウン情報

企業による社会貢献活動に感謝状を贈呈

国が発注した福島漁港（福島）改良工事を行っている「株式会社菅原組（函館市）」が社会貢献活動の一環として、のろし台ほか漁港施設周辺の草刈り・清掃活動と荒天により漁港内に寄った流木等の除去を行っていただきました。

清掃等の活動をしていただきました株式会社菅原組に感謝するとともに、今後も漁業者などが使用しやすいよう国・北海道と漁港整備を進めていきたいと思います。



▲左から鳴海町長、(株)菅原組：小平氏、黒澤氏

知内診療所

知内町字重内31番地130　TEL：01392-5-3509

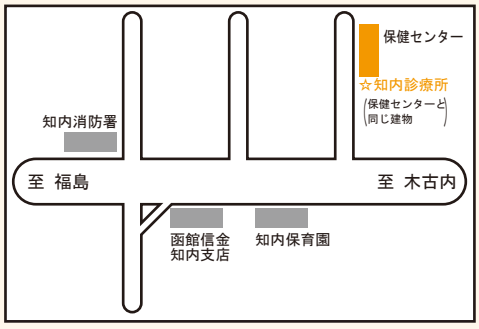
医師：山内賢二（院　長）
山内雅史（副院長）毎週金曜日

●整形外科・皮膚科・麻酔科・内科・外科　医師：山内（やまのうち）　賢二（けんじ）（院長）

曜　日	診　療　時　間
月・火・水・木・金及び第１・３・５土曜日	８：３０～１２：００
月・火・水・木・金	１４：００～１７：３０

●整形外科　医師：山根　繁（函館中央病院名誉院長）

曜　日	診　療　時　間
隔週水曜日	１４：００～１６：００（受付時間 12:00～）



サンタさんからケーキのプレゼント！

12月6日（水）、サンタクロースとライオンズクラブの会員の方が福島保育所と福島幼稚園を訪問し、子どもたちにケーキを配りました。

子どもたちはケーキのお返しに、福島保育所では「あわてんぼうのサンタクロース」の歌を歌い、福島幼稚園ではベルの演奏を披露しました。

◀サンタさんからケーキをもらう子どもたち（上：福島保育所、下：福島幼稚園）

感謝の気持ちを歌に込めて コーラスサークル「エプロン」記念コンサート

12月10日（日）、吉岡総合センターにて女性コーラスサークル「エプロン」による記念コンサートが開催されました。「エプロン」は、吉岡保育所（当時）の先生からの呼びかけで、保育所の保護者の方々により結成され、今年で30周年を迎えました。

当日は、唱歌メドレーやクリスマスソングを披露し、最後は来場者全員で「ふるさと」を合唱しました。

▲来場者に歌を披露する「エプロン」の皆さん（提供：函館新聞社）

第一生命労働組合より絵本をいただきました

12月15日（金）、第一生命労働組合函館営業職支部より、福島保育所に絵本が寄贈されました。

毎年、同支部が地域貢献活動として開催しているチャリティーバザーの収益金を活用し実施されている活動で、今年度も福島保育所に絵本が寄贈されました。

少し早いクリスマスプレゼントに子どもたちは大変喜んでおりました。

▲絵本を受け取る子どもたち

新しいスクールバスが納車されました！

12月18日（月）の大安吉日に、新しいスクールバスが納車となりました。

乗車定員は41名（運転手含む）で、3学期からの児童生徒の通学や各種学校行事等に利用することとなります。

子どもたちの笑顔を運ぶバスとして、大切に利用してまいります。

▲新しいスクールバス

介護・医療分野の連携協定

12月20日（水）に福島町役場で千葉県の医療法人社団明生会と社会福祉法人福島幸愛会、福島町の三者による「介護福祉・医療体制の相互連携に関する協定調印式」を行いました。

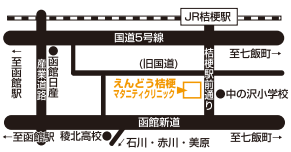
今後は、介護福祉サービスの技術的向上をはじめ、介護福祉・医療関係の人材育成や地域医療に係る医師確保に向けた取り組みの強化が期待されるところです。

▲左から田畑理事長、鳴海町長、平沼理事長

医療法人社団 陵仁会
【診療科目】産科・婦人科 小児科隣接
えんどう桔梗マタニティクリニック
産科・最新4D超音波・婦人科他（産前・産後の教室も充実）

【診療時間】	日(第2・4)	月	火	水	木	金	土
午前(9:00～12:00)	●	●	●	●	●	●	●
午後(14:30～17:30)	休診	●	●	手術日	●	●	休診
休診	日曜(第1・3・5)・祝祭日						

院長 遠藤 力
女性医師 無痛分娩 里帰り分娩 4D超音波 産後ケア入院 各種婦人科検査
医師 新垣 加奈
1月の日曜診療は、14日と28日になります。
※年明けは1月4日(木)から通常通り診療致します。
入院設備完備



初診の方でもPC、携帯、スマートフォンから24時間外来事前受付、分娩希望受付可。
問診票ダウンロード可。予約なしの来院も可。
ホームページ内のメールフォームからのご質問は24時間可。電話問い合わせ可(診療時間内)。
函館市桔梗5丁目7-15
(桔梗駅前通り中の沢小学校前)
TEL(0138)47-3001

町議会定例会（12月会議）

平成29年度町議会定例会12月会議は、12月13日（水）に開催されました。

会議では、行政報告、報告1件、一般質問、議案12件、発委2件が審議され、原案どおり可決されました。

主な内容は、次のとおりです。

☆一般質問

3名の議員が、次の項目について質問しました。

○瀧川　明子　議員

・国道（日向、上町）の交通安全について

・ゆとらぎ温泉にシーズン券を

○佐藤　孝男　議員

今後の農林産業体制について

○木村　隆　議員

これからの包括的支援事業（介護予防政策）の考えは

☆条例の制定・改正

●福島町ふるさと定住促進住宅基金条例の制定について

人口減少の抑制を図るため、子育て世代や若者等を中心に定住・移住に結び付けていくことが必要であり、さらなる定住等を促すための定住促進住宅を整備し、子育て環境の充実を図るとともに定住等の促進を効果的に進めるための財源とする基金条例を制定しました。

●職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

当条例の根拠法である地方公務員の育児休業等に関する法律に基づいた人事院規則が改正され、里親のうち養子縁組によって養親になることを希望している方を「養子縁組里親」として条例に定義するとともに、育児休業法に定める特別の事情に保育所等に入所できない場合に育休をさらに延長できる規定を設けるため改正しました。

●特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

平成29年11月1日に制定した福島町学校運営協議会規則に伴い、学校運営協議会委員を新たに追加するため改正しました。

●特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について

特別職の期末手当については、平成28年度より一般職と同じ支給月数に改正しており、今般の人事院勧告により、期末手当の支給月数を引き上げるため条例の一部を改正しました。

●職員の給与に関する条例の一部改正について

平成29年8月8日の人事院勧告は、一般職員の民間給与との較差を埋めるため給与水準の引き上げ及び特別給の支給月数の引き上げの改正として、当町の給与条例についても当該勧告に基づき条例の一部を改正しました。

●電源立地促進対策交付金事業で取得した水産施設の設置及び管理条例の一部改正について

砕氷積込施設が平成29年11月6日に解体したことから、当該施設を条例から削除するため改正しました。

☆財産の取得

●定住促進住宅建設事業用地の取得について

定住促進住宅建設事業用地として、取得しました。

☆計画等の変更

●第5次福島町総合計画の変更について

平成29年度定例会10月会議において議決された本計画について、事業内容に変更が生じたため、第5次福島町総合計画における前期実施計画の一部を変更しました。

☆補正予算

●平成29年度福島町一般会計補正予算（第8号）

総額で9千635万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ41億3千589万9千円となりました。

●平成29年度福島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

総額で183万6千円を追加し、歳入歳出それぞれ9億5千347万9万千円としました。

●平成29年度福島町介護保険特別会計補正予算（第2号）

保険事業勘定の総額に151万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ6億4千387万2千円としました。

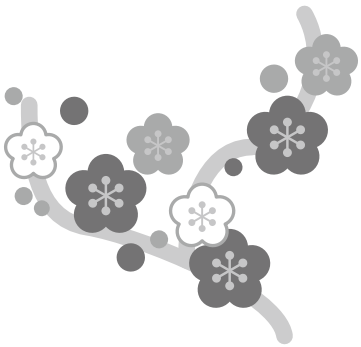
●平成29年度福島町水道事業会計補正予歳（第２号）

水道事業費用の営業費用に12万円を追加しました。

☆**発意**

▽議会議員の歳費及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

▽義務教育費国庫負担制度堅持・負担率１／２への復元、教職員の超勤解消と「30人以下学級」の実現、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書の提出について



■福島町議会一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告（平成２９年１２月１日現在）

整理番号	18	議員名	平沼　昌平	対応・進捗状況	対応中
質問要旨	**【松前半島道路の整備促進に向けた取り組み及び松前町との路網整備について】** 松前半島道路が必要だという住んでいる方々の思いを内外に示すのは、やはり各町の首長だと思う。アピールするために看板など何らかの手法や広報に掲載するなどの活動が必要と感じているが如何か。 緊急時に対応した松前町と福島町の間の新たな路網整備について、今はルートが2本ある。松浦～白神間は松前町と協議して道道への昇格を要望しているが、今現在、緊急時に対応できる道路となっているのか。				
取り組み状況	・H29.11.15　松前半島道路建設促進期成会東京要望（町長出席） （北海道縦貫自動車道建設促進道南地方期成会、高規格幹線道路函館・江差自動車道早期建設促進期成会、函館広域幹線道路整備促進期成会と合同で実施） ・H29.11.16　渡島西部4町商工会・議会・町合同による東京要望（商工会副会長・議長・町長出席）				

整理番号	21	議員名	平沼　昌平	対応・進捗状況	対応中
質問要旨	高齢者福祉に関連した様々な予算、事業がある中で四季を通じて見守る組織作りがこれから我々の町としてもっとも必要なことと考えます。 内容はそれぞれあるが、考え方の根幹は同じだと思おう、四季を通して高齢者がどういう状況でどうしてもらいたいのか、情報をいち早く得ることと、特に冬期間に町内の事業者、次世代を担う若い方々の雇用の場の創出を考え、組織編成し、意見を聞きながら高齢者に向けたサポート事業の展開をなされた方が良いと思うが町長のお考えを伺いたい。				
取り組み状況	11/15社会福祉協議会と高齢者の冬期間排除説について協議を実施 社協による安心生活訪問調査により、町、社協の除排雪事業について助成制度を知らない世帯があるとの報告があり、まずは制度の周知を優先に、町広報12月号で、町助成制度と社協除雪ボランティア事業の記事を掲載し、高齢者の冬期間の除排雪に対する不安の解消を図ることとした。				

整理番号	22	議員名	平沼　昌平	対応・進捗状況	対応中
質問要旨	**【定住・移住促進に向けた考え方について】** 町長は1回目の答弁の中で定住促進なり水産業、農林業それぞれに奨励金を出して、それなりの成果を得ている、また、出産祝金を始めてからは第３子以降の出生数が増加傾向にあり、人口減少の緩和を見ていることから一定の成果は上がっているという判断の下でまだ検証はしていないということですけれども、総合計画の後期実施計画策定までに制度の検証をしていきたいという考えでよろしいですか。				
取り組み状況	定住・移住施策の検証については、これまでの成果や課題などの洗い出し、また、これまで制度の対象となった方から意見を聴取することなども必要でありますので、検証方法等について担当課を中心に協議を進めております。				

整理番号	23	議員名	川村　明雄	対応・進捗状況	対応中
質問要旨	**【定住促進住宅等奨励事業費（平成28年度福島町一般会計歳入歳出決算認定について）】** 同制度での中古住宅購入は500万円以上でなければ該当にならないが、福島町の現状は500万を超える取引が年に1件あるかないかであり、ほとんどが500万以下。若い人は100万円以下で取引し、リフォームして住み、リフォーム代の方が取得費よりも莫大に高いという現状があることから、中古住宅取得の下限については100万円以下まで対象とし、助成額も固定額ではなく購入価格の10パーセントとしたほうが有効と考える。また、リフォーム代の他に、不動産取得税、固定資産税等、住宅取得後の費用もあることから、現状を十分分析し、福島町の現状にあった定住対策を進めて頂きたいと思うが町長の考えは。				
取り組み状況	定住促進住宅等奨励事業の検証については、町内における中古住宅の取引実態を把握することが必要でありますので、まずは、庁内における資料等で把握が可能な範囲において調査を進めてまいりたいと考えております。				

役場からのお知らせ

臨時窓口の開設について

広報12月号でもお知らせしましたが、年始の休日中に役場本庁窓口を臨時開設いたしますので、お急ぎの御用のある方はご利用ください。

平成30年における通常業務の開始日は、1月9日（火）からとなります。

■日時
1月4日（木）
午前8時30分～正午

■場所
役場本庁舎（字福島）

■業務
○町民課
戸籍謄本、抄本、住民票、印鑑証明、出稼労働者手帳等の交付業務
○福祉課
国保・後期・介護等の窓口業務
○税務課・出納室
税務証明交付、収納業務

■お問い合わせ先
総務課総務防災係
☎47－3001

雪道や凍結した道路での交通事故に注意しましょう！

本格的な冬を迎え、雪道や凍結した道路での運転時には、少しの油断が大きな事故につながる恐れがあります。

普段より早めの行動をして、余裕を持った運転を心がけましょう。

・速度は控えめに
・車間距離は普段より広く間隔をとる
・進路変更や方向転換の合図は早めに

■お問い合わせ先
総務課総務防災係
☎47－3001

防災とボランティア週間のお知らせ

1月15日（月）から21日（日）は、「防災とボランティアの週間」です。これは、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災において、ボランティア活動及び住民の自主的な防災活動の重要性が広く認識されたことにより指定されました。

この機会をきっかけに、各家庭や地域の防災対策を確認しましょう。

詳しくは、専用ホームページをご覧ください。

■ホームページ
http://vol-week.go.jp

■お問い合わせ先
総務課総務防災係
☎47－3001

水道の凍結にご注意を！

水道が凍結してしまった場合は、福島町の指定水道工事店に連絡して修理してください。

■福島町の指定水道工事店
金澤建設㈱
☎47－3372
木村配管
☎48－6639
ナルミ設備
☎48－5255
㈲小鹿建設
☎47－2708

☆こまめに水抜きをして凍結を防ぎましょう。

■お問い合わせ先
建設課水道係
☎47－3006

職業援護相談所総会の開催について

平成30年度の福島町職業援護相談所の総会を次のとおり開催します。

新会員も募集しておりますので、会員の方はお誘い合わせの上、参加されますようお知らせします。

■日時
1月4日（木）
午後1時から

■場所
レストランたかお

※入会希望者の方は、当日会場へお越しください。

■お問い合わせ先
産業課商工観光係
☎47－3004

高齢者等屋根雪下し及び除排雪費用助成事業のお知らせ

町では、高齢者等の世帯に対して、屋根雪下し及び家屋周辺の除排雪費用の一部を助成しております。

対象となる世帯など、詳しくは広報１２月号に掲載しております。

ご不明な点やご相談等がありましたら、電話や窓口にてお気軽にお問合せ下さい。

町民課　☎４７－４６８１

国民年金のお知らせ

予約相談を実施しています

日本年金機構では、全国の年金事務所で予約相談を実施しております。予約相談を利用すると、スタッフが事前に準備してくれるためスムーズで丁寧な相談を受けることが可能です。年金事務所にて年金請求の手続き、受給されている年金の相談をされる場合は、是非ご活用ください。

予約受付・お問い合わせ

・函館年金事務所　お客様相談室

０１３８－８２－８００１

０１３８－８２－８００２　※どちらも接続先は同じです

↓

自動音声案内が流れるので「１」を押してください。

↓

続けて「２」を押してください。

・ねんきんダイヤル

０５７０－０５－１１６５

（０５０で始まる電話番号の場合）

０３－６７００－１１６５　※どちらも接続先は同じです

予約受付時間帯

・８：３０～１６：００（月曜～金曜）

・相談を希望される日の前日～１カ月前まで受付しています。

・ご連絡の際は、基礎年金番号の分かる年金手帳や年金証書をご準備ください。

※１月中旬については、源泉徴収票の発行に伴い、電話が混み合う事が予想されますので、予めご了承ください。

問い合わせ先	町民課　年金係　☎４７－４６８１（直通）

浄化槽整備事業のお知らせ

町では、清潔で快適な生活環境をすすめるとともに、川や海をきれいにするため平成２３年度から浄化槽整備事業を進めています。

対象住宅は、専用住宅などです。

浄化槽工事のうち、町が行う工事、申請者が行う工事は次のとおりです。

町が行うもの

■浄化槽本体
■町が必要と認める工事

申請者が行うもの

■自宅内排水設備工事
■水洗トイレ改造工事

町が行うもの

■設置する用地を町が使用するため、土地所有者と申請者の同意が得られていること
■設置する用地に障害物がないこと　■工事費用の負担ができること

浄化槽工事分担金

工事費により分担金の額は違いますが、限度額が設定されております。浄化槽設置の際に人槽区分に応じて１回のみ分担金を納付していただきます。

人槽	分担金（限度額）	家屋延床面積
５人槽	129,100円	130㎡以下
７人槽	150,200円	130㎡を超える

浄化槽使用料

浄化槽の年間維持費は人槽区分によって異なりますが、維持費の2/3は町が負担しますので、1/3を使用する方が使用料として納付していただきます。

人槽	月額	
	初年度	２年目以降
５人槽	1,900円	1,700円
７人槽	2,100円	2,000円

※月額使用料は清掃回数等により変更があります
※維持費は、法定検査料、保守検査料、清掃料です

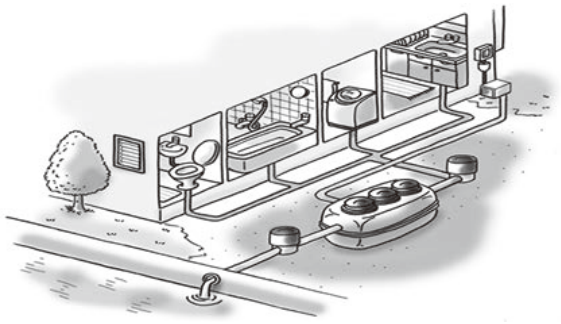
申請者が設置する水洗トイレや配管工事に助成制度があります

既存の住宅でトイレの改修や排水設備など、水洗化にかかる工事は、家の構造や改修方法によって異なりますが、町では工事費の６０万円を上限として2/3を補助します。

※補助金の参考例

工事費	町補助金	申請者負担額
600,000円	400,000円	200,000円
800,000円	400,000円	400,000円

※そのほか、融資あっせん制度があります。



浄化槽設置の申込について

平成３０年度は１０基分の新設を予定しています。申し込みは先着順となっていますので、設置を希望される方は、お早めに連絡をお願いします。定数を超えた場合は翌年度となります。

申込期限　平成３０年７月３１日（火）まで

■問い合わせ先

浄化槽の内容や申し込みなどについて詳しくは、町民課町民係（☎47-4681）までお問い合わせください。

後期高齢者医療制度のお知らせ

■高額介護合算療養費及び医療費通知について■

高額介護合算療養費について

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。

同じ世帯の被保険者が、１年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度及び介護保険から支給されます。なお、手続きには市区町村窓口への申請が必要となります。

○　後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが０円の場合は対象となりません。
○　支給額が５００円以下の場合は支給されません。

◆自己負担限度額表

【１年分の自己負担額の計算期間：８月１日～翌年７月31日】

負担割合	区　分		自己負担額の合計の基準額
３割	現役並み所得者		６７万円
１割	一般		５６万円
	住民税非課税世帯	区分Ⅱ（※１）	３１万円
		区分Ⅰ（※２）	１９万円

※１　世帯全員が住民税非課税である方
※２　世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が０円（公的年金収入のみの場合、その受給額が８０万円以下）、または老齢福祉年金を受給している方

申請される方は、福祉課国民健康保険係（後期高齢者医療担当）までお申し出ください。

医療費通知を全受診者へ送付します

広域連合では被保険者の皆様の医療費総額などについてお知らせする「医療費通知」を、対象期間に医療機関等を受診した全ての被保険者の皆様へ送付します。

発送日は、９月下旬と３月下旬の年２回です。

【イメージ図】

受診年月	診療を受けた医療機関等	診療区分	日数	医療費総額	自己負担額
H29年１月	○○病院	医科外来	1	18,000	1,800
H29年２月	××病院	調剤	1	10,000	1,000
合　計				28,000	2,800

※　確定申告（医療費控除）の際の添付資料としては使用できません。
※　この通知は皆様の受診状況についてお知らせするもので請求書ではありません。

◆医療費通知の活用について

○ 医療費の推移が一目でわかるため、ご自身の健康状態の把握や健康管理に活用できます。
○ インフルエンザ予防や健康診査など、皆様の健康保持・増進に役立つ情報が記載されています。
○ 診療日数等に間違いがないか確認しましょう。

お　問　い　合　わ　せ　先

北海道後期高齢者医療広域連合
住所　〒060-0062
札幌市中央区南２条西１４丁目
国保会館６階
☎０１１－２９０－５６０１

福祉課　国民健康保険係
後期高齢者医療担当
☎４７－４６８２

生涯学習コーナー

第５回 高齢者学級「異世代間交流」

１２月５日（火）、第５回高齢者学級が行われました。小学校１・２年生と、コマまわしやメンコ、けん玉、お手玉、レクリエーションで子どもたちとふれあいました。普段の遊びでは馴染みのないおもちゃに子どもたちは興味津々で、学級生は使い方を教えたり、一緒に遊んだり、楽しそうに子どもたちとの時間を過ごしていました。

福島中学校芸術鑑賞

１２月１０日(日)、福島中学校芸術鑑賞会を行いました。今年は北海道教育大学函館校吹奏楽団を招き、演奏会を実施しました。演目のなかでは福島中学校吹奏楽部とコラボレーションもあり、大学生の迫力ある演奏に生徒たちは引き込まれていました。

福島学ジュニア　クリスマスリースづくり

１２月１６日（土）、福祉センターにて第６回福島学ジュニアが開催されました。

１０月に行った福島学ジュニアで木のツルを集め、今回はリース作りと飾り付けをしました。自分で作った世界に一つだけのクリスマスリースに、参加児童は喜んでいました。

青少年の主張大会

青函トンネル記念館で「平成２９年度 青少年の主張大会」が、１２月９日（土）に開催されました。シアター室がいっぱいになるほどの観客を前に、緊張ながらも堂々と、自分の考えや想いを児童生徒が主張してくれました。

【小学生の部】

福島小学校６年	鳴海　　空	銀賞
吉岡小学校６年	祝田　龍乙	銀賞
福島小学校６年	田澤志保里	銀賞
吉岡小学校６年	水澤　　凛	銀賞
福島小学校６年	平野　朱葉	金賞

【高校生の部】

福島商業高校１年	馬躰洸史郎	銀賞
福島商業高校３年	梅澤　　萌	金賞

【中学生の部】

福島中学校１年	馬躰　光瑛	銀賞
福島中学校２年	西田　大翔	銀賞
福島中学校３年	船尾　　怜	金賞

◆懐かしいふる里の写真募集について◆

この度、一部町内外の方々から、ふる里追想のため“「ふる里」思い出の写真集”をつくってほしいとのご要望があり、柏稜会（福島町函工同窓会）が計画し、教育委員会が後援することになりました。

つきましては、平成３０年３月末までに町民の皆様より写真を募集し、来年の１２月までに発行する予定ですのでご協力をお願い致します。なお、採用不採用は編集会議で決定しますので、あらかじめご了承ください。

※写真はコピーを取り、すぐお返しします。

※写真提出先・・・福島町教育委員会生涯学習係　☎ 0139-47-3675　担当：阿部、佐藤

●1月の行事予定

◇歴史文化講座
期日　1月25日（木）
場所　青函トンネル記念館

★平成30年の総合体育館は、1月4日（木）からの開館となります。お正月は運動不足になりがちです。体育館へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

＊1月総合体育館カレンダー＊

日	月	火	水	木	金	土
	~~1~~	~~2~~	~~3~~	4	5	6
7	~~8~~	~~9~~	10	11	12	13
14	~~15~~	16	17	18	19	20
21	~~22~~	23	24	25	26	27
28	~~29~~	30	31			

農林かわら版

第40回農村生活工夫展開催！

12月8日（金）、福祉センターにて福島町農村改善グループ主催の「第40回福島町農村生活工夫展」が開催され、改善グループ会員が丹精込めて作った漬物や、黒米を利用した料理と手芸品等の7部門合計で80品ほどの作品が出品されました。

一般公開では、大勢の来場者がテーブルに並んだ料理を試食し大変好評でした。

また、農村生活グループ会長中塚和子さんへ鳴海町長より40回開催の功績を讃え感謝状が贈呈されました。

ご意見やお問い合わせは　産業課農林係まで　☎：47−3002　FAX：47−4504まで

地域おこし協力隊のふくしま散歩！

地域おこし協力隊
猪熊　矩嗣

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年の4月に地域おこし協力隊に着任し、何かと不慣れな私に、大変温かいお声掛けや、多くのご協力を賜り、誠にありがとうございました。

引き続き本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、協力隊の活動として、主に福島町観光協会の事務局に従事しております。イベントの運営や企画、観光に関する業務をしておりますが、10月のカントリーフェスティバルを最後に福島町観光協会主催の年内イベントは全て終了となっております。季節柄、春から夏にかけて大小のイベントでにぎわいますが、秋から冬の間はイベントも少なくなり、福島町のメイン観光スポットである横綱記念館と青函トンネル記念館も冬季休館となるなど、一抹の寂しさを感じて日々を過ごしているところであります。

そんな中、吉岡温泉ゆとらぎ館は、ほぼ年中営業しており、少し気になったので調べてみますと、月に約5千人以上、年間ですと約6万人超の入湯者がいらっしゃることが分かりました。もちろんリピーターの方も大勢おられますが、人口約4千2百人の町では中々の利用者数ではないでしょうか？

恥ずかしながら、子供の頃や学生時代にしか利用した記憶がない私には驚きの数字でした。（反省し、今年は利用します！）

そこで改めて館内を見て回ると、玄関に展示スペースがある事に気が付きました。

スペースには福島町の特産品などを展示おり、聞くと長年その展示内容が全く変わっていないようで、もったいないなぁと考えていたところ、同時期に周囲よりあのスペースで「何かできないか」との声があったので、来客者に福島町の写真をみてもらうのはどうかと案を出させていただき、さっそく昨年11月より展示いたしました。是非、この機会に吉岡温泉をご利用して頂いた際は、このコーナーにも目を向けていただきたいと思う次第です。

今後も、季節に合わせて写真の入替えや、イベントの特集なども企画したいと考えております。写真の展示はとても小さいことかも知れませんが、寒い季節に少しでも心温まるものを増やしていきたいと新年、心新たに故郷を想うところであります。

1月 January 今月の行事予定

日	曜日	行事	時間
1	月		
2	火		
3	水		
4	木	役場臨時窓口開設	8:30～12:00役場
		福島消防団出初式	9:00～福祉センター
5	金		
6	土		
7	日		
8	月	成人の日	
9	火	役場仕事始め	
		三者合同新年交礼会及び平成29年度町表彰者受賞祝賀会	18:00～福祉センター
10	水	年金相談（要予約）	10:00～12:00、13:00～15:00役場
		こぐまクラブ	10:00～福島保育所
11	木	特定健診・がん検診	7:00～11:00吉岡総合センター
		運動保育	10:00～福島保育所
12	金	特定健診・がん検診	7:00～11:00健康づくりセンター
13	土		
14	日		
15	月	ふれあい教室	10:00～11:30吉野母と子の家
			13:30～15:00吉岡総合センター
16	火	ふれあい教室	10:00～11:30浜中母と子の家
			13:30～15:00健康づくりセンター
		ゆりっこ広場	10:00～11:30子育て支援センター
17	水	医療費控除事前審査	9:00～12:00、13:00～15:00役場
		リハビリ教室	10:00～11:30健康づくりセンター
		3学期始業式	10:00～福島幼稚園
18	木	医療費控除事前審査	9:00～12:00、13:00～15:00役場
		乳幼児健診（ブックスタート事業）	13:30～14:30健康づくりセンター
		各小学校・中学校3学期始業式	
19	金	医療費控除事前審査	9:00～12:00、13:00～15:00役場・吉岡総合センター
		育児教室	10:00～11:30子育て支援センター
			13:30～15:00健康づくりセンター
		福島保育所誕生会（バイキング給食）	10:00～福島保育所
20	土	読み聞かせの会	10:30～11:00福祉センター図書室
21	日		
22	月	医療費控除事前審査	9:00～12:00、13:00～15:00役場
		議会運営委員会	13:30～議員控室
23	火	医療費控除事前審査	9:00～12:00、13:00～15:00役場
		移動図書事業（福小10:15、吉小14:15）	
		ふれあい教室	13:30～15:00白符ふれあいセンター
		ゆりっこ広場	10:00～11:30吉岡総合センター
24	水	医療費控除事前審査	9:00～12:00、13:00～15:00役場・吉岡総合センター
		マイケル先生と英語で遊ぼう！	9:30～福島幼稚園
25	木	医療費控除事前審査	9:00～12:00、13:00～15:00役場
		健康料理教室	10:00～12:00吉岡総合センター
		テーマ：血液サラサラクッキング	
		ALT訪問（英語であそぼう）	10:00～福島保育所
		介護家族交流会	13:30～15:00健康づくりセンター
		歴史文化講座	18:30～青函トンネル記念館シアター室
26	金	経済福祉常任委員会	10:00～議会議場
		医療費控除事前審査	9:00～12:00、13:00～15:00役場
		温泉健康相談	10:30～15:30吉岡温泉
		ランチの日	10:00～福島幼稚園
27	土	絵本の広場	9:00～12:00福島幼稚園
28	日		
29	月	特別委員会	10：00～議会議場
		ふれあい教室	13:30～15:00健康づくりセンター
30	火	ふれあい教室	10:00～11:30あづま～る
			13:30～15:00三岳母と子の家
		避難訓練（火災想定）	10:00～福島保育所
		ゆりっこ広場	10:00～11:30子育て支援センター
31	水	ちびっこ広場	10:00～12:00福島幼稚園

お問い合わせ先 - telephone -

議会事務局	(47)2215	産業課	(47)3004
総務課（代表）	(47)3001	吉岡支所	(48)5211
企画課	(47)3007	教育委員会	(47)3675
税務課	(47)4683	認定こども園福島保育所	(47)3440
町民課	(47)4681	福島幼稚園	(47)2233
福祉課	(47)4682	福島消防署	(47)2119
建設課	(47)3006	観光協会	(47)3004

サイレン吹鳴について

平成30年福島消防団出初式の挙行に際し、1月4日（木）午前9時に全町のサイレンを吹鳴しますので、火災と間違いのないようお願いいたします。

■お問い合わせ先
福島消防署
☎47-2119

住宅用火災警報器を設置しましょう

暖房を使い始め火災が発生しやすい季節を迎え、11月13日（月）、館古地区を女性消防団員と消防職員が一般家庭防火査察を行いました。

防火査察では各家庭を訪問し、チラシの配布や暖房器具、台所などの火気使用場所に異常がないかを確認し、火災予防を呼びかけるとともに、住宅用火災警報器や消火器の設置促進を図りました。

福島町内の住宅用火災警報器設置普及率は66％です（平成29年12月現在）。

まだ設置してないご家庭は、設置して下さるようご協力お願い致します。

■設置場所
・各寝室に設置
・2階、3階に寝室がある場合は、階段の天井に設置
・1つの階に7㎡以上の居室が5以上ある場合は、その階の廊下に設置

※平成23年6月1日から住宅用火災警報器の設置が義務になりました。

■お問い合わせ先
福島消防署
☎47-2119

ノロウイルスによる食中毒を予防しましょう！

★ノロウイルスによる食中毒予防のポイントは次のとおりです★

・調理場へ「持ち込まない」
↓ノロウイルスに感染しないために、健康状態の把握・管理をしましょう

・調理場内で「拡げない」
↓調理器具は食品によって使い分けをしましょう

・調理・盛付け時に「つけない」
↓特に調理の前にはしっかり手を洗い、器具の洗浄・消毒を徹底しましょう

・食品・器具等を「加熱・消毒する」
↓中心温度85～90℃・90秒以上の加熱や塩素系消毒剤による消毒を行いましょう。

■お問い合わせ先
北海道渡島保健所生活衛生課食品保健係
☎0138-47-9552

「エルタックス」をご利用ください。

北海道では現在、「エルタックス」の普及拡大に努めております。

「エルタックス」とは税金の申告や届出をインターネットを利用して電子的に行うシステムです。

窓口に出かけずにオフィスから簡単に申告や届出ができるようになります。

北海道では法人道民税・事業税、地方法人特別税の申告や「法人設立・設置届出書」などの受付について利用できます。

また、市町村においては、法人市町村民税などの申請・届出にも利用できます。

「エルタックス」のお申し込み手続きや詳しい情報については、次のホームページをご覧ください。

■ホームページ
http://www.eltax.jp/
（一般社団法人地方税電子化協議会）

■お問い合わせ先
北海道渡島総合振興局課税課事業税間税係
☎0138-47-9441

ちびっこギャラリー

後列右から　①たかもり　はるとくん　②いしかわ　そうくん
前列右から　③よしざわ　すずねちゃん　④みずさわ　ゆらちゃん　⑤ゆあさ　あいらちゃん

1月は、福島幼稚園の作品です
「両親へのプレゼント」（年長児）

お父さんには、秋に拾った松ぼっくりを使ってリースを作りました。
お母さんには、小さな手を良く使い一針一針心をこめて、鍋つかみを縫いました。

吉岡温泉だより　1月の風呂の日

26日（金）

温泉で心も体もリフレッシュ！
風呂の日は、ちょっと得した気分！
家族みんなで、温泉へ出かけましょう！

●サービスカードのスタンプを１個サービス！
●抽選により回数券（6枚）をプレゼント！

11月風呂の日の当選者

白符　木田正隆　さん
豊浜　村上光子　さん
豊浜　川村トキ　さん
松前　阿部智恵子　さん
三岳　北野　宏　さん
三岳　金澤富士子　さん
吉岡　竜川久美子　さん
福島　山崎紀子　さん

おめでとうございます！

特定建設業　豊かな技術と確かな信頼工事
株式会社桧山電気工業
本　社　住所：檜山郡厚沢部町字富栄611-4
電話：0139－64－3331
URL：http://www.hiyama-denki.co.jp
営業所住所：松前郡福島町字福島524
電話：0139－47－3622
E-mail：hiyama02@beach.ocn.ne.jp
北海道グリーン・ビズ認定、北海道と家庭教育サポート企業協定締結

桧山電気はこんな会社

みんなまってるよ～　営業所の社員です　社員募集中

北斗営業所　新規開設しました！

社内旅行　大阪・道頓堀に行ってきたよ～！

ふるさと応援基金

平成29年12月25日現在までの寄付金が下記のとおりとなりました。ありがとうございました。

期　間	件数	寄　付　金
H18.4～ H29.3	740件	25,321,222円
H29.4～ H29.12	77件	625,000円
小　計　①	817件	25,946,222円
使ったお金②	7件	1,652,000円
①－②		24,294,222円

福島町ふるさと応援基金事業を募集しています！
詳しい内容は、町ホームページで！
担当：企画課　企画係　☎47-3007

わが家のアイドルで～す

櫻庭（さくらば）　愛心（あいり）　ちゃん
平成28年9月22日生まれ
父　櫻庭　恵太さん（館崎）

おうちの方より一言
音楽に合わせて踊るのが好きです！

わが家のアイドル募集中！
このコーナーに登場してくれるお子さんを募集しています！掲載を希望される方は、企画課広報広聴係（☎47－3007）までご連絡ください。

よろこび・かなしみ

11月25日～12月25日届出分

☆おたんじょうおめでとう

今月の届出はありませんでした。

☆おくやみもうしあげます

亡くなった方	年齢	地区名
舘政　義信さん	78歳	千軒1
石岡　孝一さん	61歳	館崎2
阿部ヤヨヱさん	89歳	白符1
深山　和子さん	68歳	月崎1
佐藤吉太郎さん	88歳	吉野1
立崎　順悦さん	70歳	日向1
岩﨑　輝夫さん	73歳	吉岡3
大橋　伸三さん	67歳	吉野2
横内シヅエさん	97歳	三岳1

ガソリンスタンド営業日のお知らせ

〈1　月〉

1月1日（月）～1月3日（水）は、町内全てのスタンドが休業となります。

1月4日（木）より通常営業となりますが、詳しくは各スタンドへお問い合わせください。

今月の運転免許更新時講習

○優良運転者講習（30分講習）
1月11日（木）午後6時
福島町福祉センター

○松前町の講習
1月17日（水）
松前町総合センター
●違反講習　午前10時
●優良講習　午後1時
●一般講習　午後2時
●初回講習　午後3時45分

☆運転免許更新手数料　2,500円

☆更新時講習手数料
○優良運転者　500円
○一般運転者　800円
○初回・違反者　1,350円
○高齢者
70歳～74歳　5,600円
75歳以上　5,200円
小型特殊のみ　2,250円

更新時講習を受講する場合は、事前に松前警察署で更新手続きを行うことが必要ですので、ご注意願います。

詳細は、松前警察署交通係（☎42－3110）までお問い合わせください。

広報ふくしま　第734号
平成30年1月1日発行
発行　福島町
☎（0139）㊼3001
http://www.town.fukushima.hokkaido.jp/
E-mail info@town.fukushima.hokkaido.jp
印　刷　㈱長門出版社印刷部

日曜当番医

1月7日　（木古内国保病院）
14日　小笠原クリニック
21日　（松前町立病院）
28日　（木古内国保病院）
※診療時間は、午前9時から午後3時までです。

人口と世帯（H29.11月末現在）

		前月比
人口	4,241人	－11人
男	1,967人	－6人
女	2,274人	－5人
世帯数	2,159世帯	－2世帯

スピードダウンキャンペーン実施中！